

活動内容

APS は、以下のような活動を行っています。

交流会

当事者同士で日ごろの悩みをシェアし、共感しあうことで安心感を得ます。また、相談を通してライフハック（仕事術・生活術）などの情報の交換をします。

ライフハック研究会

電話対応など、当事者が多く抱える困りごとのテーマを決め、参加者同士でライフハック（仕事術・生活術）を考えたり、デバイスなどの情報をシェアしたりします。

勉強会

APD とはどのようなものか、レジュメを読みながら基礎的な知識を習得します。

講演会

専門家や医師などをお招きし、APD についての知識を深めることを目指します。また、質疑応答を通して、日ごろの悩みや疑問を解消します。

情報発信

Twitter や note、LINE、などの Web サービスを通して、APD についての情報発信や、イベント開催の告知をします。

APD 当事者会 APS の関連サイト

- APD 当事者会 APS Web サイト
<https://apd-peer.jimdofree.com>
※お問い合わせはこちらからお願いします
- Twitter
https://twitter.com/apd_peer
- note
https://note.mu/apd_peer
- こくちーずプロ
https://www.kokuchpro.com/group/apd_peer/
- Facebook ページ
<https://www.facebook.com/APD-Peer-Support-102864458511165/>
- APD オープンチャット



参考文献

- きこえているのにわからない APD[聴覚情報処理障害]の理解と支援(学苑社) 小淵千絵・原島恒夫 編著
- APD「音は聞こえているのに聞き取れない人たち」(さくら舎) 小淵千絵 著

APD 当事者会 A P S (APD Peer Support)



APD（聴覚情報処理障害）当事者がより良い生活を送ることを目指して

APD (聴覚情報処理障害)とは?

APD は「**Auditory Processing Disorder (聴覚情報処理障害)**」の略称です。

APDとは、聴力に問題はなく音は聞こえているけれど、人の話し声(音声)を情報として認知するのが困難な状態のことです。

耳から入ってきた音の情報を脳で処理して、ことばとして理解する際に、なんらかの障害が生じる状態だと考えられています。

APD 疑いにみられる症状

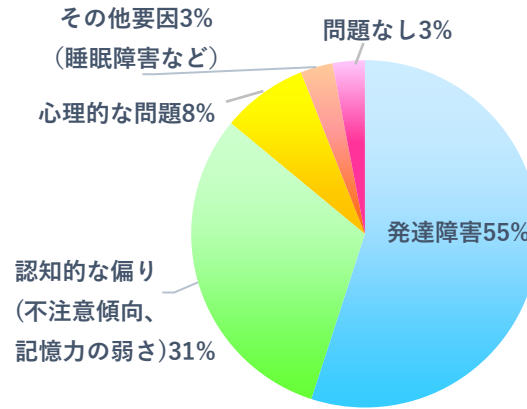
- ・ 聞き返しや聞き誤りが多い
- ・ 雑音があると聞き取りが難しい
- ・ 口頭で言われたことは忘れっぽい
- ・ 早口や小さな声は聞き取りにくい
- ・ 長い話だと聞き続けるのが難しい

APD を引き起こす背景要因

- ① 脳損傷
- ② 発達障害
- ③ 認知的な偏り
(不注意・記憶力が弱い)
- ④ 心理的な問題



大人のAPDの背景要因の内訳



※参照:APD「音は聞こえているのに聞き取れない人たち」
小淵千絵

APD への支援

- ① 環境調整
教室や職場での着席位置の配置
音声情報の文字化 話し手側の配慮
- ② 聴覚を補う手段の利用
話し手の声の増大
騒音低減
- ③ 直接的支援方法
聴覚訓練
代償、補償手段を確立する訓練
- ④ 心理的な支援
症状の説明や受容
周囲の理解促進
専門家への紹介



APD 当事者会「APS」とは?

APS は「**APD Peer Support**」の略称です。

APD 症状で困難や苦勞、悩みを抱える当事者が集まりつながる会です。ゆるいつながりを通して人生がより良い方向へ進むきっかけとなればと思っています。

2018年4月にAPDという概念を知り、それまで当事者で集まる場がなかったため、同年6月に当事者会を立ち上げました。

APDを広く知ってもらうこと、当事者のAPD症状が少しでも改善し、より良い生活につながることを目指し、活動をしています。

活動実績

- ・ 交流会を月1回ほど開催
- ・ ライフハック研究会、勉強会等を不定期開催
- ・ APD オープンチャット運営
- ・ APD 当事者会の立ち上げ支援
- ・ 専門家やメディア等への協力

